

令和7年度 年間授業計画

教 科：外国語 科 目：論理・表現Ⅱ 単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	MY WAY Logic and Expression II (三省堂)
	補助教材：	MY WAY Logic and Expression II サブノート (三省堂)

教科 (外国語) の目標

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 (論理・表現Ⅱ) の目標

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどに関する知識を身に付けるとともに、目的や場面、状況などに応じた論理の構成についての理解を深め、情報や考えなどを効果的に伝える技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを表現したり伝え合ったりする能力の向上を図る過程を通して、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

令和7年度 年間授業計画 科目（論理・表現Ⅱ）

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	感	配当時数
		期	読	話[や]	話[発]	書					
単元 I Love My Country!	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項						知識・技能				
完了形、未来を表す表現を理解し、使えるようにする	現在形(be動詞・一般動詞)						用語を理解し、文法事項を使うことができる				
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
基本的な語句や文を用いて、これまでの経験、好きな場所を紹介する発表ができるようにする	教科書等	○	○	○		○	場面や目的に応じて、文法事項を使って表現ができる	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
練習を繰り返すことで、知識を定着させ、表現しようとする態度を育てる	意見の発表と交換、スライド提示						事実や自分の考えを整理して、伝え合ったり発表しようとしている				
単元 The New Wave of Sports	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項						知識・技能				
助動詞を理解し、使えるようにする	過去形、現在・過去進行形						用語を理解し、文法事項を使うことができる				
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
週末の予定について会話することができるようにする。最新のものを紹介する発表ができるようにする。	教科書等	○	○	○	○	○	場面や目的に応じて、文法事項を使って表現ができる	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
練習を繰り返すことで、知識を定着させ、表現しようとする態度を育てる	意見の発表と交換、スライド提示						事実や自分の考えを整理して、伝え合ったり発表しようとしている				
定期考査（中間考査）/返却と解説								○	○		0
単元 The Future of Technology	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項						知識・技能				
変動態・不定詞を理解し、使えるようにする	未来表現						用語を理解し、文法事項を使うことができる				
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
印象に残っている授業について会話することができる。贈り物について説明することができる。	教科書等	○	○	○		○	場面や目的に応じて、文法事項を使って表現ができる	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
練習を繰り返すことで、知識を定着させ、表現しようとする態度を育てる	意見の発表と交換、スライド提示						事実や自分の考えを整理して、伝え合ったり発表しようとしている				
単元 Rediscover Kabuki	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項						知識・技能				
不定詞・知覚使役動詞を理解し、使えるようにする	現在完了形						用語を理解し、文法事項を使うことができる				
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
日本文化について、会話することと紹介する発表ができるようにする。	教科書等	○	○	○	○	○	場面や目的に応じて、文法事項を使って表現ができる	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
練習を繰り返すことで、知識を定着させ、表現しようとする態度を育てる	意見の発表と交換、スライド提示						事実や自分の考えを整理して、伝え合ったり発表しようとしている				
定期考査（期末考査）/返却と解説								○	○		0

1
学
期

令和7年度 年間授業計画 科目（ 論理・表現Ⅱ ）

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
		期	読	語[や]	話[発]	書					
単元 Will Our Lives Change with AI?	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項						知識・技能				
動名詞・分詞構文を理解し、使えるようにする	助動詞、受動態						用語を理解し、文法事項を使うことができる				
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
いろいろな科学技術について会話することができるようにする。社会の状況と職業についてのレポートを作成することができるようにする。	教科書等	○	○	○		○	場面や目的に応じて、文法事項を使って表現ができる	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
練習を繰り返すことで、知識を定着させ、表現しようとする態度を育てる	意見の発表と交換、スライド提示						事実や自分の考えを整理して、伝え合ったり発表しようとしている				
単元 Experience Madagascar's Wildlife	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項						知識・技能				
比較を理解し、使えるようにする	不定詞						用語を理解し、文法事項を使うことができる				
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
大きさなどを身近なものに例えることができるようにする。政界や日本で有名な場所を紹介発表することができるようにする。	教科書等	○	○	○	○	○	場面や目的に応じて、文法事項を使って表現ができる	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
練習を繰り返すことで、知識を定着させ、表現しようとする態度を育てる	意見の発表と交換、スライド提示						事実や自分の考えを整理して、伝え合ったり発表しようとしている				
定期考査（中間考査）/返却と解説								○	○		0
単元 Can We Go and Live on Mars?	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項						知識・技能				
関係詞を理解し、使えるようにする	動名詞、分詞						用語を理解し、文法事項を使うことができる				
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
火星についての会話と火星での生活についてレポートを作ることができるようにする。	教科書等	○	○	○		○	場面や目的に応じて、文法事項を使って表現ができる	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
練習を繰り返すことで、知識を定着させ、表現しようとする態度を育てる	意見の発表と交換、スライド提示						事実や自分の考えを整理して、伝え合ったり発表しようとしている				
単元 Language and Society	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項						知識・技能				
仮定法を理解し、使えるようにする	比較表現						用語を理解し、文法事項を使うことができる				
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
旅行に行く友達との会話をすることができる。仮定法を用いて「もし○○がなければ」というタイトルで発表することができるようにする。	教科書等	○	○	○	○	○	場面や目的に応じて、文法事項を使って表現ができる	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
練習を繰り返すことで、知識を定着させ、表現しようとする態度を育てる	意見の発表と交換、スライド提示						事実や自分の考えを整理して、伝え合ったり発表しようとしている				
定期考査（期末考査）/返却と解説								○	○		0

令和7年度 年間授業計画 科目（ 論理・表現Ⅱ ）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			期	読	話[や]	話[発]	書					
3 学 期	単元 Send Our Love to the world	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	否定の表現を理解し、使えるようにする	関係代名詞						用語を理解し、文法事項を使うことができる				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	悩み事を相談することができるようにする。社会問題について現行発表をすることができる。	教科書等	○	○	○		○	場面や目的に応じて、文法事項を使って表現ができる	○	○	○	6
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
	練習を繰り返すことで、知識を定着させ、表現しようとする態度を育てる	意見の発表と交換、スライド提示						事実や自分の考えを整理して、伝え合ったり発表しようとしている				
	単元 Follow in Our Hero's Footsteps	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	that の使い方を理解し、使えるようにする	関係副詞、仮定法						用語を理解し、文法事項を使うことができる				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	調べ学習での会話、関心のある人物を紹介するスピーチをすることができるようにする。	教科書等	○	○	○		○	場面や目的に応じて、文法事項を使って表現ができる	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度					
練習を繰り返すことで、知識を定着させ、表現しようとする態度を育てる	意見の発表と交換、スライド提示						事実や自分の考えを整理して、伝え合ったり発表しようとしている					
定期考査（期末考査）/返却と解説								○	○		2	
											合計	
											62	